

かかりつけ薬剤師制度導入初期に おける患者側の反応とその傾向

発表者:三谷調剤薬局佐古店 中本 淳子

共同発表者:

三谷調剤薬局中昭和町店 三谷 陽子

三谷調剤薬局藍住店 高木諭志

アイ調剤薬局川内店 武政 景太

三谷調剤薬局中昭和町店 星野 佑弥

三谷調剤薬局藍住店 石田 薫

三谷調剤薬局藍住店 山本 博子

三谷調剤薬局南内町店 郡 秀和

三谷調剤薬局本店 三谷 昌敬

ファーマシューティカルケア研究所 中原 保裕

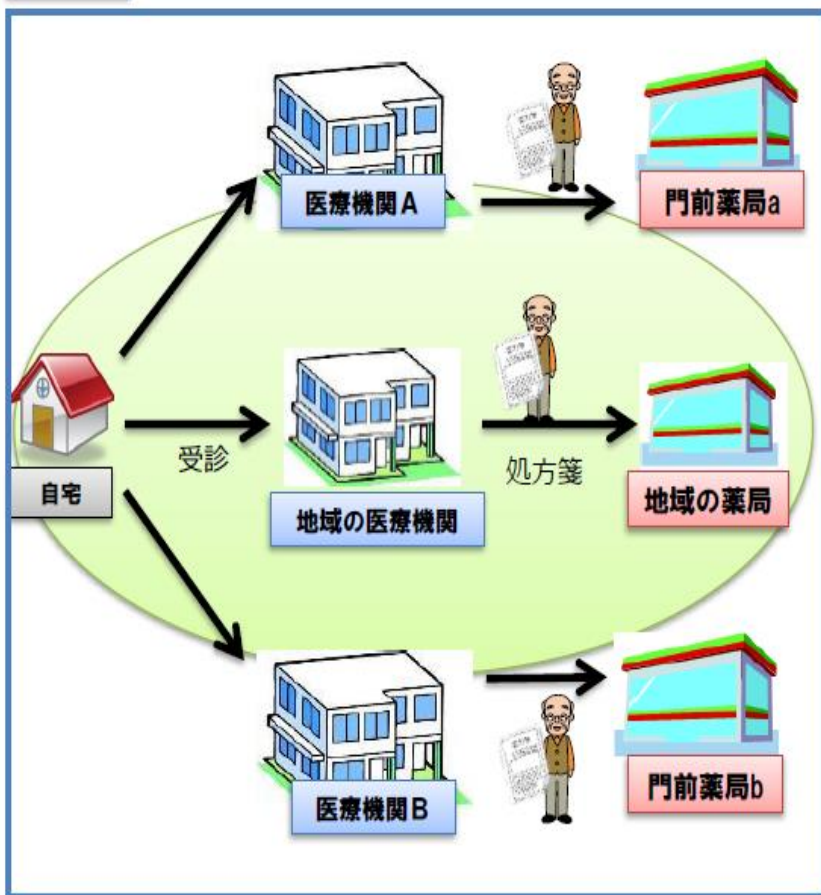
患者のための薬局ビジョン

- H27年10月23日 厚生労働省より公表
- 患者・住民に対し医薬分業の意義やメリットを享受するために、かかりつけ薬剤師・薬局が必要である旨を積極的に周知することを求めている。

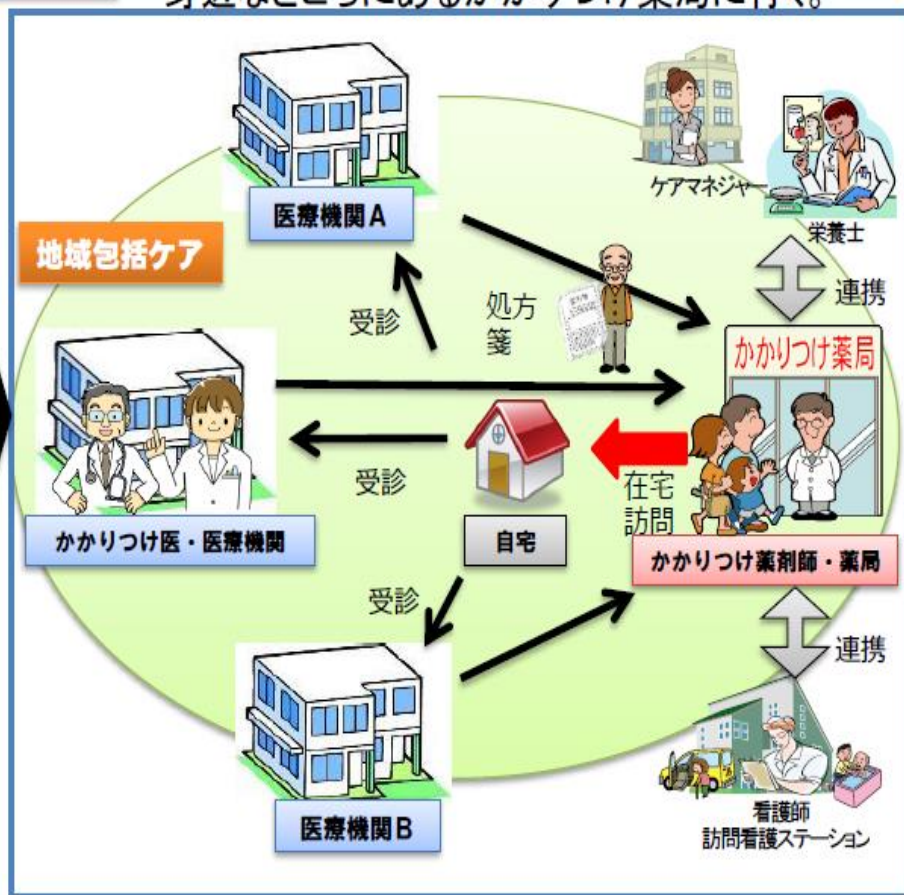
「門前」から「かかりつけ」、そして「地域」へ

今後の薬局の在り方(イメージ)

現状 多くの患者が門前薬局で薬を受け取っている。



今後 患者はどの医療機関を受診しても、身近なところにあるかかりつけ薬局に行く。



目的

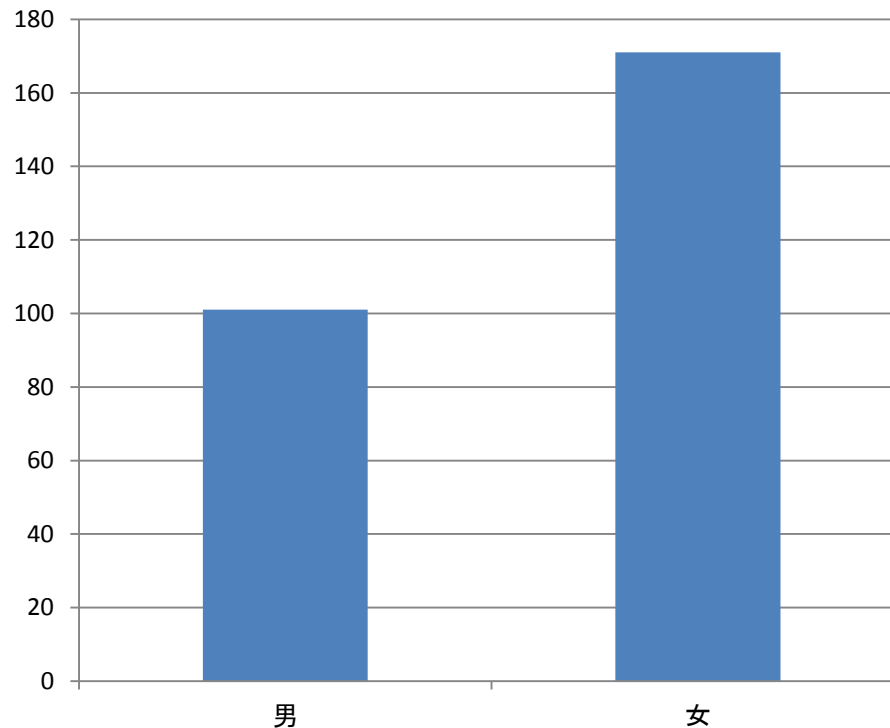
- かかりつけ薬剤師の制度に対する患者側の反応とその傾向を分析することで、この制度を患者側に理解してもらうための取り組み方を検討すること。

方法

- 調査期間：平成28年4月1日～5月31日
- 調査対象：調査期間中に薬局6店舗にて
薬剤師との間に同意書を交わした
患者272名
- 調査項目
 - 患者の性別
 - 年齢
 - 他科受診
 - 薬局に訪れている年数
 - 基礎疾患

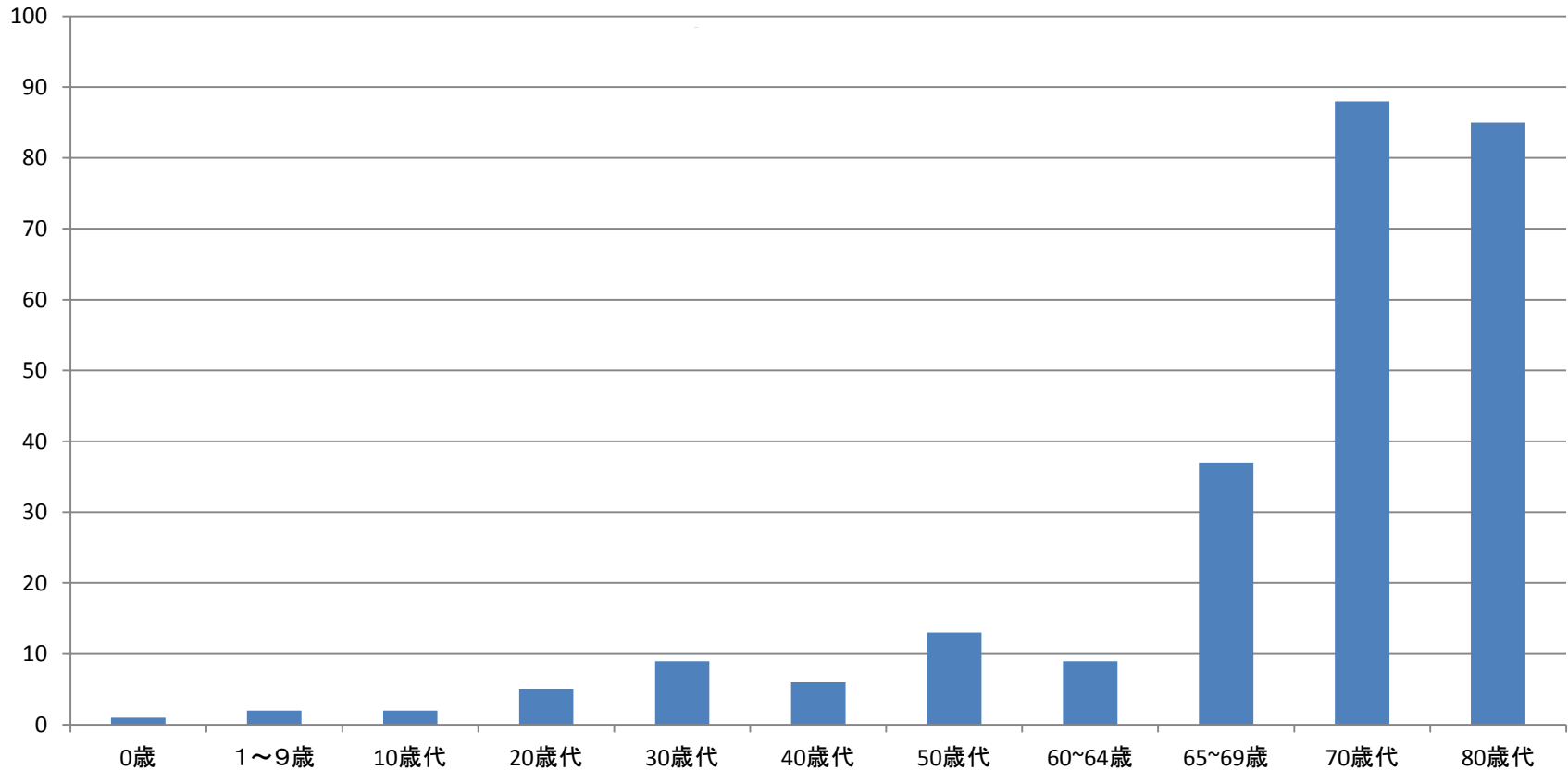
対象患者の性別

男女比



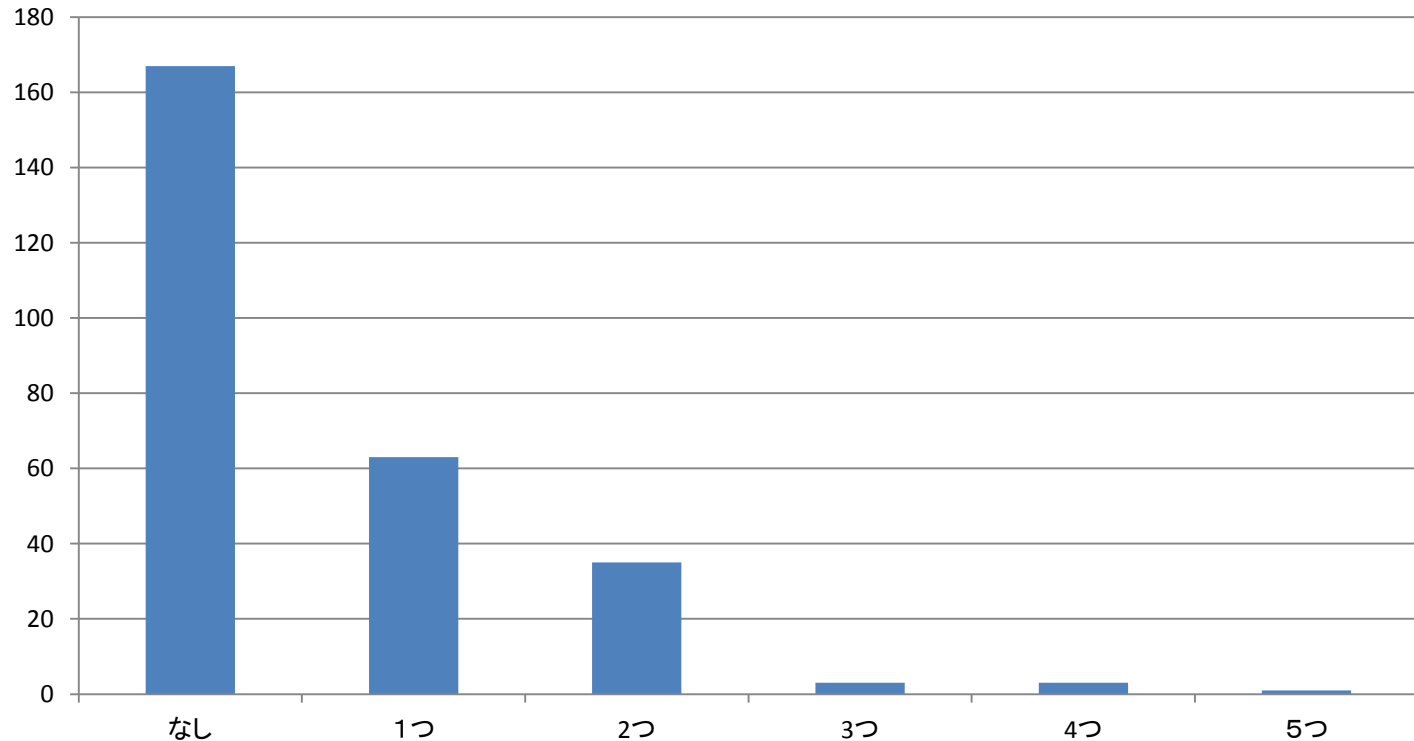
男性101名、女性171名
女性は男性に比べて1.7倍であった

対象患者の年齢



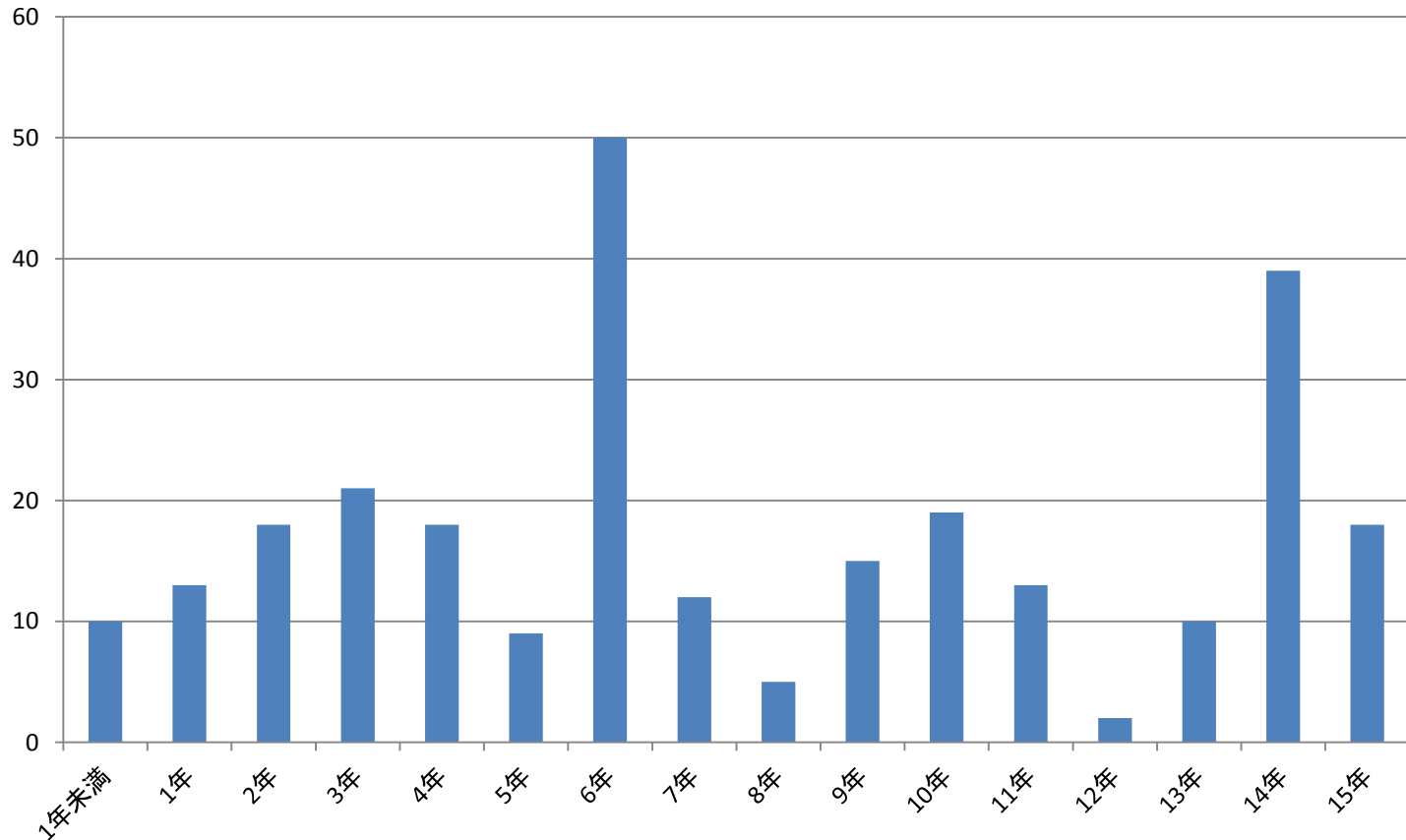
最も多かったのは70歳代で、65歳以上の高齢者が全体の約8割を占めていた。

他科受診状況



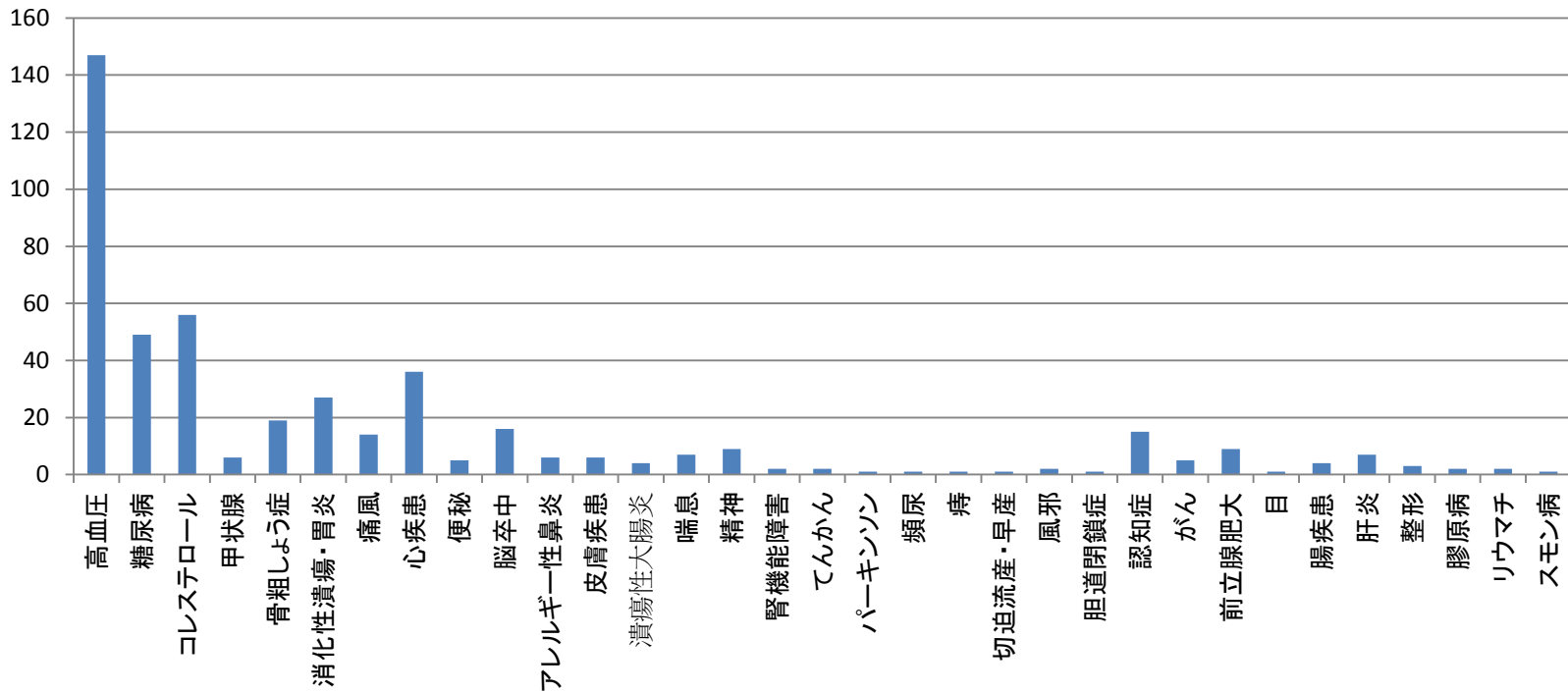
他科受診状況は他科受診なしが
全体の約60%を占めていた。

薬局に訪れている年数



6年目の患者が最も多いが、
5年以下の患者も33%を占めていた。

基礎疾患



全体の54%の患者が高血圧症を治療中であった。



薬剤師の友達はいませんか？

「かかりつけ薬剤師」制度がはじまりました

友達に
薬剤師がいると
心強いし、安心ね

「かかりつけ薬剤師」とは、お薬の服用・管理から
体調や食事の管理など、健康全般の相談ができる
あなた専用の薬剤師を持つことを意味します



毎回、十分な経験を積んだ選任の
薬剤師が対応してくれる。

あなたが決めた薬剤師が毎回に対応をしますので、一元的・継続的な
ケアをすることが可能です。
また十分な経験と知識を持った薬剤師しか「かかりつけ薬剤師」には
なりませんので、安心してあなたの健康のサポート役を任せください。



お薬に関することは、すべて任せられる。

あなたが使われているすべてのお薬（医薬品やサプリメントを含む）を
把握して、相互作用がないかなどを確認します。
また必要に応じて、投薬管理などのため、ご自宅にお伺いすることも
可能です。



ご相談は24時間365日。

あなたの「かかりつけ薬剤師」担当の専用ダイヤルをお伝えしますので、
随時随所でも電話によるご相談を受け付けます。



お問い合わせ・ご相談はお気軽にどうぞ。

ミタニ調剤薬局

〔 佐古店 〕

徳島県徳島市佐古四番町10番9号

TEL.088-611-3435

FAX.088-611-3436

考察

1. 今回の調査で同意書を書いてくださった方は男性に比べて女性が多かったのは、比較的説明をするための時間を長くとってくれたことが影響していると思われる。
2. 高齢者の方が同意書を多く書かれているが、本当にこの制度の意義をよく理解した上でのことかは疑問である。
3. 本来この制度の下で治療をしていただく必要性が高い複数受診の患者が少ないことが明らかになった。今後我々はこのような患者に対し積極的にアプローチしていく必要がある。
4. 基礎疾患をみる限りにおいては、一元的かつ継続的に薬剤師がモニターしていく必要性の高い疾患患者が多かったことは、今後この制度の有用性を検証していく上で良いことと思われる。

結語

- かかりつけ薬剤師制度の患者にとってのメリットを、もっと具体的に丁寧に説明していく必要がある。
- この制度普及にとどまることなく、健康サポート薬局や高度な在宅医療の推進に向けて、能動的に活動していかなければならない。